

長い間、地元の人によって里山の木は炭や薪に、谷戸は田んぼや畑として利用されていましたが、昭和40年代以降社会の変化と共に使われなくなりました。

昭和30年代までこのような所にはたくさんの種類の生き物が生息し、生物多様性に富んだところでした。

人の手が入らなくなってやや少なくなったものの、ここには今では珍しくなった貴重な生き物がいろいろいます。

2015年、神奈川県自然保護協会が選ぶ県内生物多様性ホットスポットとして選定されました。

あつぎこどもの森公園憲章

私たち厚木市民は、「あつぎこどもの森公園」において、多くの生き物に恵まれた自然環境や里山の文化などの資源を守り、いかしながら、遊んで学んで元気になれる自然体験活動を通じてたくましい子どもたちを育てる取組を推進するため、この憲章を定めます。

- ・ 私たちは、厚木市の生き物にとって重要な場所である「あつぎこどもの森公園」の自然環境を守り、育て、その大切さを伝えます。
- ・ 私たちは、里山の自然環境の特性をいかした様々な体験の機会を子どもたちに提供し、生きる力を育みます。
- ・ 私たちは、里山で継承されてきた農業や暮らしの知恵を伝承し、新たな里山の文化を育てます。

制作 ©あつぎこどもの森クラブ自然プロジェクトグループ 通巻73号
写真 吉田文雄・ナカノジュンゴ・青砥航次

このパンフレットのバックナンバーは下記からダウンロードできます。
<https://atsugikodomonomori.com/guidedwalk>

連絡先 あつぎこどもの森公園管理棟 046-210-3433
E-mail atugikodomonomorikurabu@gmail.com
HP: <https://atsugikodomonomori.com/>

秋の花

2022年10月15日(土)



ツルニンジン

主催 あつぎこどもの森クラブ

咲いている花

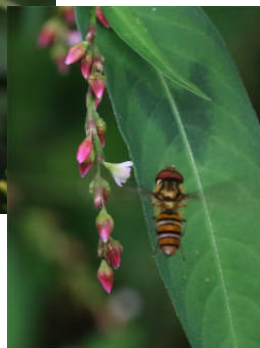
人は花をきれいだと愛でますが、花は種を絶やさないために、時には虫の力を借りて頑張っています。



ツルニンジン（トウモロコシ）の花はキイロスズメバチが運びます。スズメバチの背中に注目。

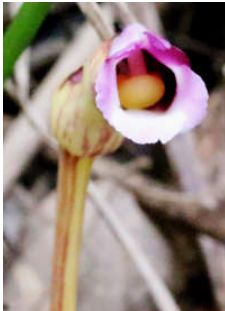


セイタカアワダチソウの花に来ているのはホソヒラタアブです。



ホソヒラタアブはボントクタデの花にも

これらの花はどうやって授粉をするのでしょうか。



ナンバンギセル



コメナモミ（円内花拡大）



刺激すると虫と間違えて花粉を出すタイアザミ



オオオナモミ
実の上は、雄花



カントウヨメナ

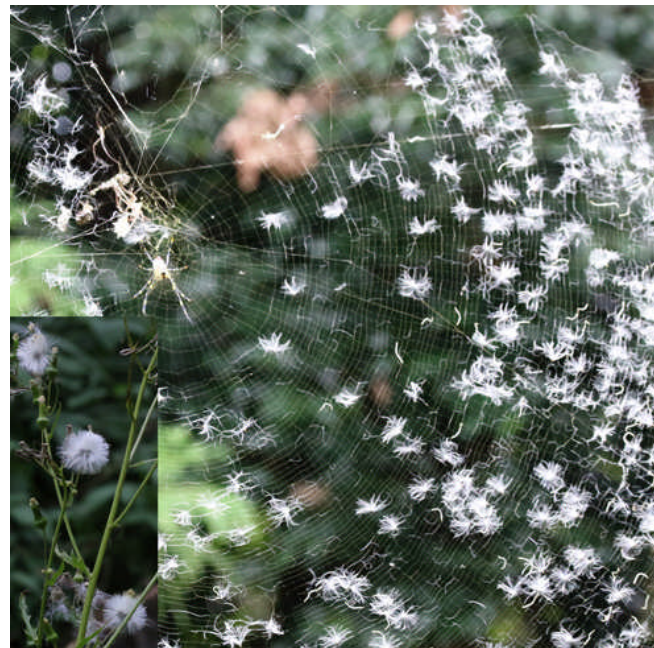


クサギ

最近のこどもの森公園

10月
9日

植物



ジョロウグモが張った巣にダンドボロギク（タンポポ）の綿毛の実が付いてレースのように見えました。

クモは迷惑だったかも知れませんが。

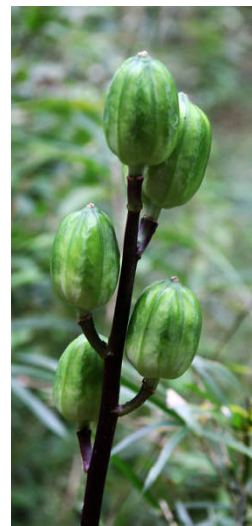
左下は綿毛の実が付いたダンドボロギクです。



ノアズキ 実



サンショウ 実



ウバユリ 実



まだ秋なのにスギの雄花はもうこのようにふくらんでいます。

キノコ



アカヤマタケ
蕨苔・地衣類



フクロツチガキ



エリマキツチガキ



コスギゴケ



レブラゴケ

昆虫



キノカワハゴロモ
左下は回廊の手すりに止まっているいるところですから、大きさが分かります。キノカワハゴロモの名前は、体が木の皮に擬態しているところからのようです。気候変動の影響か、最近南の方から分布を拡げつつあります。アオバハゴロモは仲間です。



シヨウリヨウバツタモドキ 草原の希少種



ハラビロカマキリ 褐色型



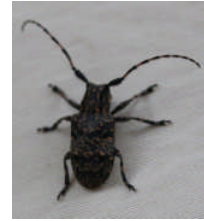
ハラビロカマキリ 緑色形 前脚に白点が3つずつある



カマキリタマゴカッツ オブシムシ



アカスジキンカ メムシ 幼虫



ゴマフカミキリ



コバネイナゴ



ヒバカリ 準絶滅危惧種

センサーカメラがとらえた画像



イノシシ3頭 (家族?) 8月2日



シカ 9月12日

活動の記録



いきものガイド 10月2日

だんだん軌道にのって
ました。
クイズラリーに加えて
新しいプログラム「はっ
ぱビンゴ」が加わりました。
現在、活動の主力が3
年生なので、下の学年の
人に引き継ぐのが課題で
す。
また、いきものガイド
のテントの脇では、シュ
ロの葉っぱのバッタづく
り体験も人気です。

くぬぎの丘 バッタ調査 9月16日

厚木市内に残されたいきものが住むような草原は、ゴルフ場を除いてほとんど
ありません。くぬぎの丘は厚木市の生物多様性保全の上で大事な場所です。

前にもお知らせしましたが、ここの草原を維持するための草刈りをするとき
には場所によって刈る高さを変えてもらっています。この結果どうなったか検証し
ました。



その結果、草丈を低く管理しているところでも
多かったもの上から3種。

ヒナバッタ ショウリョウバッタ クルマバッ
タ（厚木市準絶滅危惧種）

草丈を高く刈ったところ、上から3種

ツチイナゴ ショウリョウバッタモドキ（厚木
市準絶滅危惧種） オナガササキリ（厚木市準絶
滅危惧種）

以上でした。

こどもの森ガイドウオーク（自然観察）原則毎月第3土曜日

ガイドウオークはコロナの蔓延期間中定員20名にしています。原則事前申し
込み制で、定員に空きがある場合は当日参加もできます。会員に限らず誰でも
申し込めます。

管理棟集合 参加無料どなたでも参加できます。 開始時間要確認

4月16日	スミシの秘密	10月15日	秋の花	次回
5月21日	キアシドクガ	11月19日	木の実・草の実・キノコ	
	一手すりの上のドラマー	12月17日	生き物の冬越し	
6月18日	木に咲く花	2023年		
7月16日	樹液の酒場	1月21日	冬の野鳥	
8月20日	水辺の生き物	2月25日	冬芽とコケ	
9月17日	谷戸のシダ	3月18日	春の兆し	

水辺の生き物調査隊（申し込み制 年間メンバー固定）

4月10日	こどもの森公園と水生生物について	
5月 8日	両生類～カエル・イモリについて	
6月12日	ホタルについて	
7月10日	水生カメムシについて	
8月21日	トンボについて	
9月23日	河川調査について	
10月 2日	外来生物について	
10月16日	水生コウチュウについて	七沢遠足 次回
11月13日	ホトケドジョウについて	
12月11日	冬の生き物の過ごし方	
1月 9日	落ち葉かき・カブトムシ増やし	
2月12日	トンボの幼虫を絵に描こう	
3月12日	ヤマアカガエルについて	

植物モニタリング

原則毎月第2金曜日の9：30から 決まったコースを歩いて出現する植物を
記録します。植物を覚えたい方により機会です。会員対象

草木染め勉強会

園内にある植物を使って草木染めをいろいろ試してみようという会です。
毎月第3金曜日午前中。 会員対象です。（入会はいつでも受付けています）

いきものガイド

東京農大学生による生き物調べお手伝い 第1, 第3日曜13時 ~15時